

# 大館市教育委員会会議録

日 時 平成28年4月1日（金）  
午前9時20分  
場 所 大館市役所 本庁 第1会議室

大館市教育委員会

## 大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成28年4月1日(金) 午前9時20分		
	場 所	大館市役所 本庁 第1会議室		
2 出席委員の氏名(4名)				
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根 田 穂美子	
委 員	清 野 克 子	委 員	三 浦 仁	
3 欠席委員の氏名(なし)				
4 委員以外の 出席者職氏名	なし			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之			
教 育 次 長	安 保 透			
教 育 総 務 課 長	加 賀 安 長			
6 会議録署名委員 教育長・根田委員				
7 会 議 書 記 教育総務課 課長 加賀安長				
8 教育長報告				
(1)	大館市教育振興施策の大綱について			
(2)	大館市の教育 2016年版の重点施策について			
(3)	第6次大館市社会教育中期計画について			
9 その他				

議 事 の 経 過	
	開会 午前 9時20分
教育長	<p>これから教育委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>先ほど、福原市長から教育長に任命されました。</p> <p>一言、ご挨拶申し上げます。このような形で、新システムによる教育委員会制度がスタートしましたが、基本的なスタンスは、市民の方々が教育を統括していくという、レイマンコントロールの趣旨は尊重してまいりたいと存じます。そこに、教育委員会事務局の専門性を組み入れながら、さらに大館の教育を発展させたいと考えています。新システムに関しては、色々と論議があったところですが、いずれにしても、市長と教育委員会が相互に意見交換しながら、よりよい教育を築いていくことが目的です。現在の大館を考えると、福原市長は、教育に対して非常に深い理解と支援の姿勢をもってくださっています。そこに大館が進めている「ふるさとキャリア教育」は、未来戦略であり、非常にいいタイミングで人と組織とシステムの変更がされた、まさに天佑だと思っています。この6年は旧体制ではありましたが、振り返ると、私たちが目の当たりにしたことは、子どもたちが大人を変える。そして、教育が社会を変える。さらに言うと、「ふるさとキャリア教育」が未来を変える。このことは、6年前想像さえできなかったことが、現実となって私たちが見てきました。これが、大館の教育の進めるべき方向だと確信していますので、これまで通り教育委員の皆さまのお知恵とお力を拝借して、子どもたちが発する希望が、すべての市民に循環するような町、そして、すべてのベクトルが、まっすぐ未来へ向かっている町を構築してまいりたいと思いますので、これからもよろしく願い申し上げます。</p>
委員	<p>この度、もう1期との話をいただいた時、実は私の気持ちの中では、大館の教育がいい形になったところなので、一区切りとっていました。しかしながら、退職してから、大館の教育が広がりをもっている姿を見せていただき、勉強させていただきましたが、もう一つ仕上げのところを見せていただく機会を与えていただいた、また皆さんと一緒に勉強できる機会をいただいたと思い、1年1年の重みをかみしめながら務めていきたいと、今日また辞令をいただきました。どうか、よろしく願い申し上げます。</p>
教育長	<p>本日の会議録署名委員は、根田委員にお願いします。</p>
教育長	<p>次に、教育長職務代理者の指名です。</p>
委員	<p>山田委員にお願いしたいと思います。</p>
教育長	<p>先ほど申し上げたレイマンコントロールの趣旨やご見識、実績からしてもふさわしいと考えますが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>

教育長	山田委員、よろしくお願ひいたします。
委員	承知いたしました。
教育長	次に、教育長の報告です。事務局から説明願ひます。
教育次長	先月の教育委員会会議での積み残し分です。教育総務課長から、説明させます。
教育総務課長	<p>(「大館市教育振興施策の大綱について」を、資料により報告)</p> <p>(「大館市の教育 2016年版の重点施策について」を、資料により報告)</p> <p>(「第6次大館市社会教育中期計画について」を、資料により報告)</p>
教育長	<p>関連がありますので、一括して進めてまいります。</p> <p>なお、教育大綱についてです。機構改正により、教育総務課とスポーツ振興課が分かれたことが一つですが、学校教育に関する部分は、「ふるさとに根ざし、自立の気概と能力を培う学校教育の創造」としていましたが、大館市の総合計画の人づくり部分に、「ふるさとキャリア教育」が具体的に入っていますので、基本目標は、より具体的に「未来大館市民」としたところが狙いです。</p>
委員	<p>基本理念に変更がないのは、変革がないのではなく、ここに向かっているということなので、これでいいと思います。スポーツ振興課を独立させたことは、各課の向かうところが、具体的で明確になったと思います。何を、どのように、どうするということが明確に書かれていますので、市民の皆さまにもご理解いただけたと思います。各課の重点施策を見ますと、用語も変わっています。このような中身にしたいというのが、どの課でも明確になっているように思います。例えば、教育総務課ですが、1は「学校の教育環境」、2は「スポーツ、レクリエーションの施設」、3は「社会教育施設」と、違いが明確にされていると思いました。4についてです。昨年度、「教育委員会活動」の「活動」という表現がわかりにくいと思っていましたが、今年度は、「大館の教育の理念と実践について」と、明確に書かれています。市民や全国に発信する内容は、このことなんだと、地元紙や広報でお知らせするのは、この内容なんだと思い、拝見しました。学校教育課についてです。「自立の気概と能力を培う」が、「ふるさとキャリア教育」は、ここを目指していることから、1番目に記載されています。スクール・コミュニティについては、中学校区を核にして展開し、形として見えてきています。今後は、充実させる時期だと考えますので、明確だと思いました。「学力の向上を目指し、実践的指導力を養成する研修」については、キャリアのある先生方だけでなく、若い先生方にもキャリアを磨いていただきたいと思います。昨年度、問題行動により補導された件数が0件と伺った時、多面的に積み上げてきたものが上手くかみ合った結果だと感じました。そのような経験を積まれてきた年代の方々が、ここ3年で退職されます。そうすると次の課題は、3年の間に若い先生方に経験値を伝承していくことだと思ひます。そのような意味からも、若い先生方</p>

	<p>の力を養成していくことが、今だからこそ大事なことだと思います。今の時代に生きる子どもたちに必要な手段としてIT機器を取り入れていくことは、これも大事なことだと思いました。4つの重点施策は、育成から向上へ、さらに高める意図が示されていると思いました。生涯学習課のところでは、昨年度の中央公民館長が、女性センターと勤労青少年ホームがあるため、1項目「女性及び年少労働者の福祉の推進に努める」を設けたと説明されました。今年度はさらに進み、3番目の「高校生や大学生」や、あるいは2番目の「未来大館市民」の部分に、女性センターや勤労青少年ホームの機能も膨らませて入れたのかなと思っています。7番目は、現在市の大きな流れとして動きが見られています。このことを明確にしながら、市民の皆さんが行動できるような方向にもっていく大事な一項だと思い、拝見しました。スポーツ振興課です。5番目ですが、「多様なニーズに対応した整備計画を推進」と、市民の皆さんが、明るく生活できるような方向性が見えるような気がします。以上のように、分けたことにより、各課の仕事が明確に示されていると思います。これを市民の皆さんにどのように広く周知するかが、大きなポイントになるのではないかと、全体を通して感じました。</p>
教育次長	<p>昨年度の「女性及び年少労働者の福祉の推進に努める」を削除した件です。女性センターと勤労青少年ホームは、中央公民館のサブ的な施設として活動していますので、これらに含めさせていただいたとご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>言葉一つで、訴える力が変わってくると思います。第6次大館市社会教育中期計画では、「協働」という言葉が使われています。意味を調べてみましたが、これにふさわしい表現だと思いました。</p>
委員	<p>前回の会議で、これからの進め方としては、事務局に任せるということで承認していた今回の報告案件なので、ここまでしていただき、感謝申し上げます。前回承認した通り、その方向でお願いしたいと思います。</p>
教育長	<p>実践していくことが、肝心となります。</p>
教育長	<p>他になれば、その他になります。</p>
教育総務課長	<p>(次回の開催日程について)</p>
教育長	<p>それでは、これをもちまして教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午前9時45分</p>